



7月初めのころは夏の感染症でお休みする子どもたちがいましたが、後半はみんなで元気に水遊びを楽しめました。保育園のテラスでの水遊びは、タライの水を触ったり、カップですくったり、噴水シートの噴水で遊びます。あまりに気温が高い時は天井からミストを降らせながら遊びます。たくさん遊んだ後は暖かいシャワーで汗を流し、きれいな洋服に着替えます。そんな毎日を過ごしていると生活に流れがあることがわかるようになり、服を脱いだり、着たりすることにそれぞれの子の精いっぱい姿で協力したり応じることができるようになってきました。ご家庭でもお子さんが段々としてもらうばかりでなくしようとしたりできることが増えて、4月の頃とは随分と違う姿を実感されているのではないのでしょうか。

また開放感いっばいに、普段の室内遊びでは、なかなかできないボディペインティングや感触を楽しむあそびなど全身で楽しむ一方で手を使い、物を操作する機会も多くなります。まだまだ夏の遊びを通してぐんぐんと育っていくのが楽しみです。

## こどものすかた

### ゆめぐみ

#### 「同じものをステキに思う気持ち」

ゆめ組の水遊びの様子です。水の入った風船は他にもあるけれど、バケツの中に入っている「これ」がいいんです。わたしも！わたしも！視線の先にある物を一緒に見る力があるからこそこの姿です。この先少しずつみんなで一緒に絵本を見たり、「保育士とみんな」という関係で遊んでいく根っこ部分が育っているんだなと感じるひと場面でした。 ゆめ組担任

### にじぐみ 「きもちいいね ふしぎだね」

テラスで連日お水を使った遊びを楽しんでいます。

子どもたちにとってお水は、触ると「あ！つめたい！」  
「つかまえられるなあ」「きもちいい！！」  
等々ととても面白く、子どもたちはそれぞれの感覚を研ぎ澄まして楽しんでいます。

まだまだ続く暑い夏です。保育士やお友だちと一緒に手指や足から、様々な感触を味わったり色々な素材に繰り返し触れて探求していく遊びをたくさんしていきたいと思えます。 にじ組担任

### そろぐみ 「お当番さん」

7月よりお当番活動を始めました。お当番活動の内容はみんなの前に出て来て自己紹介をしたり挨拶の掛け声をかけることから始めています。ある子は、「お当番さーん」と呼ばれると嬉しそうに前に出ましたが、みんなが自分を見ていることに気が付くと緊張していました。それでもマイクを向けられると頑張って小さな声で名前を言ったりしてとても頑張っています。また、どうしても緊張して言え



ない時は、お友だちが助けてくれる場面もあり、そら組の子どもたちの優しい姿が見られています。他のクラスの保育士に「(今日) お当番やったよ」と誇らしげに報告していたり、帰りの会の時に明日のお当番を発表すると嬉しそうにしている姿が可愛いです。ひとりひとり何か言葉をはなす機会となればと考え、今は”前に出て言う”ということがお当番のメインですが、今後はどんなお仕事をしてもらおうかな?と考えています。お手伝いが好きなそら組の子どもたちなので、いっぱいお願いしちゃおうかな・・・! そら組担任



## の予定とお願い

8月6日(土)・・・夏まつり

各ご家庭、ご案内の時間でお越しくください。当日ご家族の中で咳や発熱、調子が悪そうなどいつも違う様子がありましたら無理せずお休みのご連絡をお願いします。

●今月は、8月生まれのお友だちがいない為、お誕生会はありません。

●8月も暑い日は水遊びをしますので、朝の水遊びカードへのご記入をよろしくお願いいたします。

★お持ちいただくタオルについて・・・水遊び後のシャワーで使用しますが、水遊びが×の時も清拭は行いますので、園に1枚(でいいです)タオルがあるようにして下さい。

**清拭って?**・・・タオルをお湯で濡らしてしぼり、身体を拭きます。現在バスタオル位の大きい方も、フェイスタオル位の大きさにして頂けるとしぼる時とてもありがたいです。

●持ち物の記名についてのお願い

保育園に持ってくる持ち物には全てお名前を書いてください。水遊びの後一斉に脱いだ洋服を脱水して仕分けたりする際や食事の後のエプロン、口拭きの片付けなど、お名前がないものがある事で混乱が生じてしまいます。一度書いても消えてしまっている場合もあるかもしれませんので、お手数ですが持ち物の準備の際はお名前の確認もお願いいたします。

## 野が 職員にききました

今回は、フリー保育士の野成さんをご紹介します。

野村さんは、1歳児クラスを中心にいろいろなクラスの担任の右腕として活躍しています。

①小さい頃はどんな子どもでしたか?

本人の言葉通りに言うと、「ボーっとした子でした」とのこと。  
のんびりした、穏やかな子どもだったのですね。

②保育士になったきっかけは?

身近に保育士をしている人がいて、直接その現場を見る機会もあり、子どもってかわいいな、保育の仕事って素敵だなと感じていたそうです。

③心に残る保育エピソードをお聞かせ下さい。

最近、1歳児の子たちが友だちと同じ遊びを楽しむ姿になってきていて、みんなでぎゅぎゅとトンネル遊びをしていて感動したそうです。  
それからの保育で、水遊びの時にある子が、カップからカップへの水の移し替えを楽しんでいた時に、それを他の子がマネしやすいように野村さんも同じようにやって見せたそうです。すると子どもたちみんながどんどんマネをして、みんなで楽しめるようになったと、保育の面白さを感じたそうです。これからも子どもたちとともに育つ保育士であって下さいね!

